

## 第10回総会&活動表彰式&講演会

平成16年S.P.V発足から回を重ね、第10回総会が3月10日(日)出席者46名、委任状58名合計104名の参加で開催された。

4グループと3運営部会から、24年度活動報告があり、引き続き25年度活動計画及び役員選出が審議されて、提案通りに承認されて無事終了した。25年度はS.P.V設立10周年の節目にあたり、記念行事などを計画するために2つのプロジェクトチームを立ち上げた。

この10年間の歩みを省みると共に、さらに進化して科学館のパートナーとして一層信頼される活動に結び付けたい。

例年、総会に先立ち行われているボランティア活動表彰式には遠藤館長が出席され、今回は活動時間1000時間が2名、700時間が1名、500時間が2名、300時間が3名合計8名に感謝状と達成時

間バッチ、700時間以上には記念品も授与された。日々の地道な活動で全員にチャンスがあります。次はあなたでしょう!



総会後、恒例となった講演会が開催された。今回は会津史学会理事伊藤光子先生(郡山在住)により「新島八重の生涯」がテーマ。今年のテレビ大河ドラマの主人公八重は、会津若松市出身ということで関心度も高く、今後増加が期待される、観光絡みの科学館来館者との会話にも予備知識としては重要な内容である。私たちのS.P.Vも「ハンサム・ボランティア」でありたい。(久野 功)

天ボラの

### 知識の泉<sup>⑥</sup>

・彗星

1年を通じて30個程度見えているのですが、殆どは人知れずやってきて望遠鏡で写真を撮らないとわからないものですが。今年は11月にやってくるアイソン彗星が、満月と同じくらい明るくなり、日中の青空に観測されるかも…期待されています。彗星は、中心に輝く核と、それを取り巻くボーッとしたコマ、尾から構成されます。尾は、その成分と見え方から二種類にわけられます。一方はガスの作る「イオンの尾」。放出された電気を帯びたガスは太陽風に流されて、太陽とは正反対の方向に細長く伸びます。もう一つはチリ

が作る「ダストの尾」。放出されたチリは太陽の光の圧力を受けて太陽とは反対の方向に伸びますが、チリの大きさによって圧力の受け方が異なるために、彗星の軌道面に広がった幅のある尾になり、イオンの尾とは異なる様子になります。一部の粒の大きなチリは彗星と同じように彗星の軌道を周回し続けます。これが流星群の母天体となるのです。アイソン彗星が撒き散らしたダストが豊富なら… 2014年1月14日~15日頃、この軌道面を地球が横切るので大流星群が観測されるかも…(星 ゆかり)

## 科学館ボランティア大募集!

スペースパークボランティアの会では随時ボランティアを募集しています。科学館活動の最前線に立って、笑顔のために活躍してみませんか!?

### ◆ボランティア活動内容◆

#### 案内サービス



展望ロビーからの風景や歴史の案内、紙芝居の実演、館外に出張活動など

#### 科学ボランティア



館内のカウントや出張活動での工作や実験など

#### 鉄道ジオラマ



館内「Nゲージ鉄道ジオラマ」の案内や説明

#### 天文ボランティア



駅前や出張活動での天体観望会の案内や説明など

勉強会やツアーも実施しております

★『S.P.Vつうしん』発行予定 第38号 9月下旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をHPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.space-park.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……郡山市ふれあい科学館 TEL024(936)0201まで

編集  
あとがき

(山) 今年度はS.P.V結成10周年! つうしんもいつも以上に盛り上げていきます! お楽しみに!

(古) 新しく広報部に入りました。これからもよろしくお願いします。

(星) 駅前観望会☆通算100回＼(^O^)/ これからも多くの人に星空を見て欲しいなと思います!

(原) 今年度からこちらを担当することになりました。ええ! 私? …想定外(汗) …ですが どうぞよろしくお願ひします。



この印刷物は、FSC®認証紙と環境にやさしい植物油インクを使用しています。  
紙へリサイクル可。

# S.P.Vつうしん

●スペースパークボランティアの会●

第37号 2013 June

発行:スペースパークボランティアの会 広報部会

〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL024(936)0201

## ボランティアフェスティバル

### 案内サービス



### 「ボランティア祭り」盛況でした。

3月16日(土)17日(日)の2日間、恒例「ボランティア祭り」が開かれました。「鉄道」「科学」「天文」「案内」の4つのグループがそれぞれ趣向を凝らして賑やかに開催されました。

「鉄道グループ」は個人所有の大事な車両を操作。「天文グループ」は面白い星の解説、似顔絵をサービスしておりました。「科学グループ」は得意の工作と高度な折り紙でサービスしておりました。我が「案内グループ」は、1日目は6名、2日目は5名で頑張りました。

「展望案内サービス」「紙芝居の実演」「昔遊び」を行い、内容はお手玉、輪投げ等10種類以上あったのですが、最近「魚釣り盤」「囲碁」等を加え、これが大変人気で終了時間まで賑やかだったので、私たちも大変喜んで終ったという感想です。

(池田哲雄)



### ボランティア祭りに参加して

早いものですね。祭りの頃は、丁度、福寿草が咲いていましたが、梅、桃、桜と、あっという間に過ぎ、今は牡丹の花が真っ盛りです。3月17日は、丁度、彼岸の入りの日でした。お墓参りを済ませ、午後、参加させて頂きました。体調の都合にて、暫く活動を休ませて頂いてましたので、久しぶりの参加でしたが、ボランティアの皆様にお会いし、その笑顔に、ほっと、心が和み、楽しい一時を過ごさせて頂きました。私達、案内ボランティアのコーナーは、「昔遊び!」。何日か前から、本とにらめっこして、あやとりの練習です。そして当日、小さな女の赤ちゃんに、覚えたてのあやとり、「花かご」を作つて見せましたら、とても喜んでくれました。そして紙芝居、お手玉、けん玉、囲碁等、etc…親御さんも、お子さんと一緒に何回も挑戦してました!いいですねえ!親と子、そして、人と人のふれあいの姿は、昔も同じです!昔遊びは日本の文化ですね。伝えること、大事だと存じます。特に紙芝居は日本独自のものだそうです。又、更に、ふれあい科学館、案内ボランティアとしての特色あるコーナーにする為、協力し合うことの大切さを感じております。そして、陰で支えてくださった方々に感謝です。

(佐藤サト)

### 天文ボランティア



3月になると寒さも和らぐ時期ですが、どういう訳かボランティアまつりが開催される日は和らぐどころか、一挙に初夏にでもなった様な暑さでした。今年の天ボラチームは「もうひとつの才能!」をキャッチフレーズに出し物を考えました。まずははじめに「似顔絵コーナー」。これは来場した子供たちに天ボライラストレーターがモデルの特徴を考慮し、繊細なタッチにより絶妙な仕上がりで皆さん大満足!これには時間に関係なく長蛇の列になり大人気でした。天ボラ得意の「金環日食・海外

遠征皆既日食写真パネル展」の写真は全国版の新聞やテレビ放映などでも紹介された逸品が展示されていて、これも人気のコーナーでした。また、最近話題の隕石の展示説明「隕石鑑定団」、さらにいつもの活動での墨りメニューでおなじみの「星座早見盤作成」などなど。そして毎年恒例になった「記念写真コーナー」も、パソコンとカメラを接続させて撮つてすぐに印刷して持ち帰ることができ、大いに盛り上りました。次回も天ボラチームが持っている「もうひとつの才能!」を探し出し大いに楽しむたいと考えています。

(田辺信作)

### スペースパークボランティア募集!

\*無償参加可能な方。応募条件有り。詳しくはお問い合わせください。

問合せ先:郡山市ふれあい科学館 管理課

**TEL024-936-0201**

# ボランティアフェスティバル

## 科学ボランティア

一年間の総決算、ボランティアフェスティバル。これまで科学グループは趣向を凝らした出し物を出してきました。十二星座偏光板に手乗りトンボ、科学実験(多種多様色変わり、ケミカルガーデン等)など。今年も皆で何かやろう、見た目に楽しく残せる物を。例会ミーティングで何度も協議し、今年いちばん盛り上がった工作、「きらきらしゃぼん花」を突き詰めてみることにしました。



ラキラ光る疑似シャボン玉ができるはず…！だがそううまくは行かず。回しては動かず、からまり、変形する。さてここからが本番。テープの強度は？重さのバランスは？引っ張るコツは？？十人がかりであつという間に改良して再現よくシャボン玉になるように。当日は手のひらサイズのしゃぼん花を作ってもらいながら子どもの背丈ほどもある完成品を動かしてもらいました。さらに

他の材質や二連・三連など(製品にもなっているようです)実際に触ってもらい大盛況。今回は科学と少し離れてしまったかな。けれど手づくりモノづくりの感覚が伝わってくれたら嬉しい限り。同時開催の龍さん折り紙教室も盛況でした。2013年度も楽しんでいきましょう！(熊本隆之)



## 鉄道ジオラマ

### 鉄道ボランティア10年の歩み

地上100メートルからの情報の発信を目指し、平成13年10月、ふれあい科学館がオープンとなりますと同時に市民は勿論、県内外からも来て戴き、大変賑わいを見せ、私達鉄道退職者の



みの総勢35名で、ボランティア活動を行うようになりました。

退職者の内訳は、蒸気機関車、電気機関車、電動車、電車等に乗務し列車を走らせたり、またこれらの車両を点検、修繕する人達や駅や車掌を行った方々で、それぞれ専門のエキスパート達でございました。

科学館の設備や展示物の内容も充実するに伴い、平成15年3月から、案内、科学、天文部門に於て、それぞれのボランティアを募集し同年の5月には、案内サービス23名、科学27名、鉄道34名、天文16名の総数100名が登録され漸く同年7月から全員で活動を開始するようになりました。

鉄道ジオラマの場合、毎月最低1、2回は活動日を予定しておりましたが、思うように活動日が埋まらず、各自に電話連絡しつつ空いている日を埋めて参りましたこともあり、やがては、連絡を取らず、本人の自覚に委ねることにしました。定期的に毎年ボランティア募集を行っていますが、何故かジオラマは集まらず、減少するばかりでしたので、時代に合せ、鉄道に関係なく無経験の方でも応募可能と内容を変えて募集いたしましたところ、ここ二年の間に数は少ないが若い方が応募され、ホッとしております。

展望ロビーにありますと、いろいろな方にお会いできて大変に楽しい時もあります。若い頃、郡山で生れ育ち、県外に嫁ぎ何拾年振りに故郷に来て驚いた話など聞かされたり、変わったことなど説明したりして時の経つのも忘れた事もある。

## 健康管理とボランティア

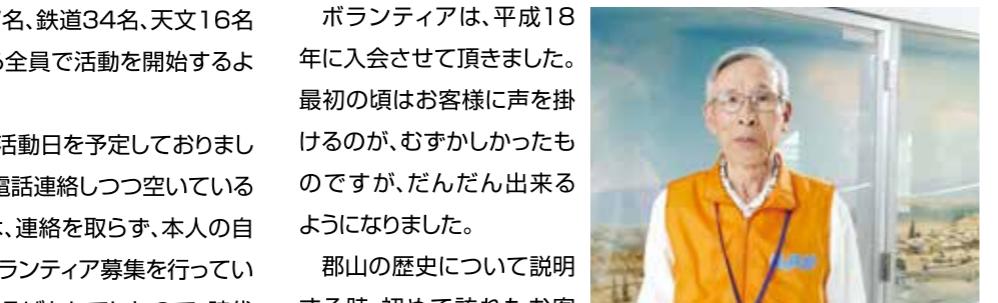
昨年12月に郡山市で行っている、特定健康診査を近くの内科医院で受診した処、血糖が高いので糖尿病だと診断されました。まさか自分がと疑いました。その後保健所の指導によりほかの機関で再検査を受けましたが、やはりその通りでした。生活習慣病の仲間入りです。とても残念ですが、ちゃんと向き合わないとならないのです。

ボランティアは、平成18年に入会させて頂きました。最初の頃はお客様に声を掛けるのが、むずかしかったものですが、だんだん出来るようになりました。

郡山の歴史について説明する時、初めて訪れたお客様が熱心に聴いて下さるのが、うれしいですね。

明治20年、東北本線上野⇒郡山間が開通して以来現在に至っている様子をジオラマが再現しているので、大勢の方々に見てほしいものです。館内の入館者は、曜日により年代も人数も違いますが、特に子ども達が多い回は、活気にあふれて良いですね。

今後も体調に留意しながら、お客様との会話を楽しんでいきたいものです。(今泉敏昭)



## 科学・天文ボランティア出張活動報告

### 出張活動

# 郡山市こどもまつり

5月5日 開催

## 科学グループ

GWも終盤を迎えた5月5日、恒例の開成山こどもまつりがやってきました！

昨年はニコニコこども館内での縮小開催を余儀なくされました。陸上競技場などの改修工事も完了し、今回は開成山エリアを大々的に活用しての開催です。科学グループが出演した開成山野球場内の“わくわく科学工作”コーナーでは、2つの工作を用意し、来場したお子さんにチャレンジしたい方を選んで頂く形に…。すると、風車もしっかり回る“ミニこいのぼり”と灯りの正体が見えてしまう“偏光万華鏡”的間で人気は見事に二分され、双方とも時に少々お待ち頂くほどの賑わいを見せたのでした。ミニこいのぼりに関して言えば、風車の取付が結構大変で、当日支援に入った高校生ボランティアの方々が絶えず下準備を重ねて下さったことが非常にありがたかったです。また、偏光万華鏡に関しては、お子さん以上に親御さんが盛り上がったりと、微笑ましい光景がそこかしこで見受けられました。

終始たくさんの親子連れで賑わった工作コーナーは、高校生の力強い支援もあり、楽しく事故なく一日を終えることができました。どうもありがとうございました。(山田善貴)

## 天文グループ

天候に恵まれた5月5日、「第48回郡山市こどもまつり」に活動参加いたしました。

私が参加したのは、風船ロケットを作る科学工作コーナー。開始時間前に科学館スタッフの方から作り方を教えていただき、お客様の来場をお待ちしました。

開始直後からたくさんの方が来場されました。風船の口を四苦八苦しながら、それでも自分で結ぼうと頑張るお子さん、早く空気ポンプを使いたくて待ちきれない小さなお子さん、「刀を作る！」とロケットの羽根を付けることを拒むお子さんなどなど、皆さん、楽しみながら作ってくれた様です。出来上がったら、壁にセットしたアンドロメダ銀河を目指してロケット発射！自分のロケットが勢いよく飛ぶ姿を見て、歓声が上がりました。



ご来場者が入りきれず、入り口でお待ちいただく姿に焦ることもありましたが、自分が作ったロケットを手に、嬉しそうに出ていくお子さんに励ました。もう一つ励ましてくれたのは、小さなスタッフの存在です。兄弟、友達を連れて再来場されるお子さんは、だいたいが、自ら講師役を務めてくれます。予期せぬ臨時スタッフでした。

多くのお子さんと触れ合った5時間でした。家に帰っても、ロケットをとばして楽しんでもらえたでしょうか。来年も多くのお子さんに科学工作を楽しんもらいたいと思います。(伊藤智美)

## 今号のきら星☆さん

科学グループ 龍 修さん・ふじ枝さん



私たちがスペースパークボランティアの会に入会したのは約三年前です。

私たち、先輩の皆さんのように活動時間も思うように取れない事が多いのですが、主に学校や公民館への出張ボランティア活動に参加しています。

以前、ふれあい科学館の担当の方より「折り紙も立派な科学ですよ」と言われてから、

私たちの得意な分野の折り紙を中心に、ボランティア祭り等のイベント時、家内と一緒に活動しています。上手に折れない子どもにはお母さんと一緒に折って頂き、完成時の“子どもの笑顔”が私たちの癒しになっています。

いつまで続けられるか解りませんが、健康である限り今のボランティアを続けて行こうと思っています。